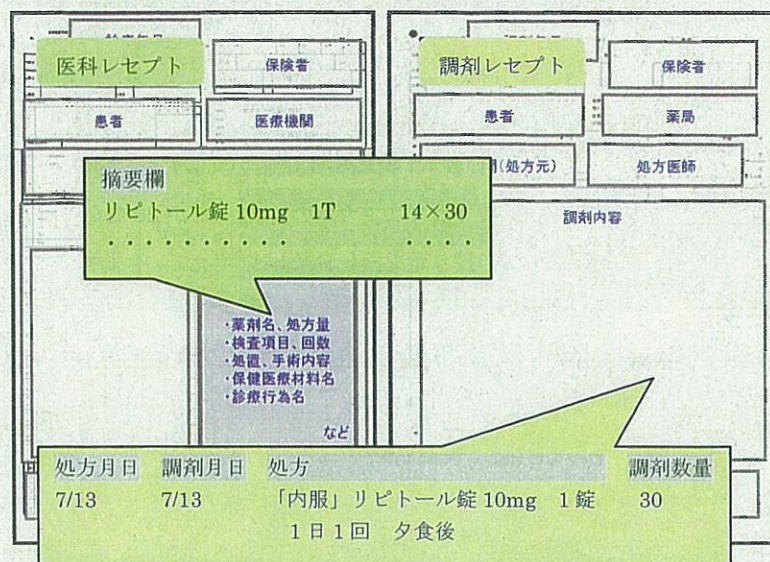


## 患者あたり投与量、投与日数の算出

- ◆ JMDCでは医科レセプトと調剤レセプトを扱っています。医科レセプトには入院レセプト(入院用)と入院外レセプト(外来診療用)があり、院外処方せんにより保険調剤薬局が調剤をすると、調剤レセプトが発行されます。それぞれのレセプトには請求する項目の詳細が記載されます(図1)。例えば薬剤が処方されたときは、
  - ・どんな薬剤を(医薬品名)
  - ・1日どれくらい(1日投与量)
  - ・何日分(一処方あたりの投与日数)
 が記載されます。  
 (\*液剤、貼布剤はトータルの処方量)

図1. レセプトへの記載  
例)リビトール錠 10mg 1日1錠 30日分処方の場合(処方日 7/13、調剤日 7/13)



- ◆ JMDCは基底母集団から全てのレセプト情報を毎月収集しており、さらに同一患者を認識できるよう患者ユニークなIDをふっています。これにより、その患者がいつどこで薬剤を処方されても処方状況を追いかけることが可能です。患者を軸にデータを見ると、下図のような変化が確認できます。

図2. 医薬品ごとの患者別月別投与日数分布 (Patient-Track System ローデータより)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	患者ID	HGP	医薬品名	200501	200502	200503	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	総計
2	102870	HP	リビトール錠10mg	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
3	103106	HP	リビトール錠10mg									30	35		60	125
4	103490	HP	リビトール錠2mg					30								30
5			リビトール錠10mg			30	42									72
6			リボバス錠5	30	30				60		60		60		60	300
7	103906	GP	リビトール錠10mg			30		30	30	30		30				150
8			リビトール錠5mg											30	30	60
9		HP	リビトール錠10mg	40												40
10	104102	GP	リビトール錠2mg											28	28	56
11		HP	ベザトールSR錠200mg	28	28	28	28	28	28	28	35	28				259
12	105196	GP	ベザトールSR錠100mg	28	28	28	28									112
13			ベザトールSR錠200mg					28	60							88
14	106190	GP	ベザトールSR錠200	30	30	30	14									104

患者IDにより同一患者が認識できるため、期間実患者数を把握することが可能です。例えば年間患者あたり投与量、投与日数は患者ごとに一年間の投与量もしくは投与日数を積み上げ、そのトータルを実患者数で割る加重平均で算出します。継続患者、脱落患者、新患が入り混じる市場における平均投与量を正確に把握することにより、実際に獲得しなければならない患者数はもっと多いかもしれません。

- ◆ 医科レセプトからは薬剤情報の他に傷病情報も得られます。薬剤のデータを傷病で切り分けることによって、傷病による投与量、投与日数の違いを分析することができます。同様に診療科でデータを切り分けることも可能です。同じ傷病に対する同じ処方でも、診療科によって使われ方に違いがあるのかもしれません。